

おたる 西別院だより

季刊
第82号



真宗小樽婦人会大会にて



小樽幼稚園園舎の前で

◇ 総裁（お裏方）様ご臨席 ◇ 平成19年10月5日（金）

本願寺小樽別院仏教婦人会創立100周年記念式典
双葉高等学校創立100周年記念式典
小樽幼稚園創立100周年記念式典

於、小樽別院本堂
於、双葉高等学校
於、小樽幼稚園

本願寺小樽別院仏教婦人会創立百周年記念式典のご案内

このたび本願寺小樽別院仏教婦人会創立百周年記念祝賀会並びに記念式典を総裁様ご臨席のもと左記の通り執り行います。

つきましては、百年という節目のご勝縁に是非お参りくださいますようお願い申し上げます。

記

一、記念祝賀会（小樽幼稚園と合同）

日時 平成十九年十月四日（木）午後五時三十分

会場 小樽グランドホテル
（小樽市稲穂一丁目四番一号）

二、記念式典

日時 平成十九年十月五日（金）午前十時

会場 本願寺小樽別院本堂
（小樽市若松一丁目四番十七号）

日程

時間	行事	場所
●四日 十七時三十分	小樽別院仏教婦人会創立百周年記念祝賀会 （小樽幼稚園と合同）	於、小樽グランドホテル
●五日 九時	総裁様小樽別院御着	
十時	小樽別院仏教婦人会創立百周年記念式典	於、小樽別院本堂
十二時	終了	



記念式典の歌の練習



100周年実行委員会



国道側の立看板

報恩講について

報恩講は親鸞聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が親鸞聖人の三十三回忌に、ご遺徳を鑽仰するために「報恩講式」を著され、聖人のご命日をご縁として拝読されたのが報恩講の始まりです。以来、親鸞聖人のご命日におつとめする法要を報恩講と呼ぶようになりました。

ご恩について聞かせていただく仏事といえます。親鸞聖人を宗祖と仰ぐ浄土真宗門徒にとつて、一年のうちで、もっとも大切な法要として、本願寺及び別院、全国の家庭においても報恩講をお勤めいたします。

親鸞聖人は九十年のご生涯をかけて、私達が阿弥陀さまによって救われていく道を示してくださいました。

「報恩」とは「恩にむくいる」ということであり「講」とは「心と同じくするもの」が一つのところに集まる」という意味です。ですから報恩講とは、一つのところに集まって仏祖の



◆宗祖親鸞聖人報恩講法要日程表◆

期日	時間	法要・行事	布教（ご法話）
十二日（金）	十時三十分 十三時三十分	○三園合同参拝 ○逮夜法要	布教一席 安田師
十三日（土）	六時三十分 十時 十三時三十分 十八時	○晨朝 ○日中法要 ○逮夜法要 御伝鈔上巻拜読 ○初夜法要 祖徳讃仰	崇敬法中（三十分） 布教一席 安田師
十四日（日）	六時三十分 十時 十三時三十分 十八時	○晨朝 ○日中法要 ○逮夜法要 御伝鈔下巻拜読 ○初夜法要 祖徳讃仰	崇敬法中（三十分） 布教一席 安田師
十五日（月）	十八時 六時三十分 十時 十二時 十三時三十分	○晨朝 ○日中法要 おとき ○逮夜法要 御俗姓拜読 ○物故者追悼法要 ○初夜法要 祖徳讃仰 ○後夜法要	布教一席 安田師 崇敬法中（三十分） 布教一席 安田師
十六日（火）	六時三十分 十時	○晨朝 ○満日中法要 代表焼香・御礼言上	布教一席 安田師 布教一席 安田師

講師／浄土真宗本願寺派布教使 安田 積心師

10月12日（金）より18日（木）まで月忌参詣をお休みさせていただきます。

ご 案 内



● 樹心会（奥沢説教所）
奥沢説教所の近くに住んでおられる方々によって構成され、男性を対象にしたお講です。毎月の例会では、会員さんと輪になって主任が法話をしています。草刈り・雪下ろしなどみんなで説教所を守りながら夏には焼き肉などいろいろな行事を行っています。

● 活動
毎月5日 19時より



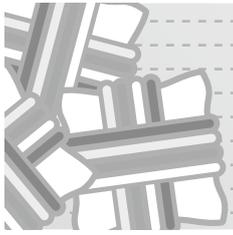
● 唯信講（奥沢説教所）
奥沢説教所の近くに住んでおられる方々によって構成され、女性を対象にしたお講です。毎月一回の例会では、みなさんでお斎（食事）をいただいております。つとめをした後、布教使さんのご法話をいただいております。

● 活動
毎月10日 12時より



● 彰心会（若竹説教所）
若竹説教所（若竹保育所）でのお講です。近くに住んでおられる方々によって構成されています。毎月の例会では正信偈のお勤めをいたします。（仏教讃歌を練習することもあります。）その後、布教使さんのご法話を聞かせていただきます。

● 活動
毎月7日 19時より



お講の



●法友会（新光説教所）

新光 朝里・望洋台付近の方々
の集まり（お講）です。小樽別
院の新光説教所で、毎月13日
に集まって楽しく行っています。
毎月の例会では布教使さん
のお話を聞かせていただき、
正月には地域の方々とお鍋を
囲んで新年会をしたり、旅行
に出かけたり、地域の繋がりに
の中から色々とお話について
学ぶ集まりです。

●活動
毎月13日 18時より



●十九日講（小樽別院内）

もとは、能登から移住され
てきた先代さんによって結成
されたお講です。百年の歴史
をもち、今はひ孫の世代が中
心に集まっています。
毎月の例会では、輪番と副
輪番が交代でお話させていた
だいております。昼のお講な
ので、法話の後は昼食を一緒
にいただいています。

●活動
毎月19日 12時より



●無量講（小樽別院内）

縁説教所から始まったお講で、
平成17年11月より縁説教所の仏
具とともに別院へ場所を移しま
した。正信偈・和讃を一緒にお
勤めし、生活信条を唱え、布教
使の先生のご法話を聞かせてい
ただきます。その後、茶菓を囲み、
談笑のひとときを過ごします。
私たちは御同朋・御同行の仲間、
毎月9日の例会を心から楽しん
でいます。ぜひ、お越しください。

●活動
毎月9日 18時より

盆踊り大会

小樽別院奥沢説教所・グループホームハーモニー



ようこそ、小樽別院へ。輪番の歓迎の挨拶です。



到着したその日(3日)にホールで演舞。自己紹介のあと踊っていただきました。

8月4日、5日と小樽別院の盆踊り大会が開催されました。今年の目玉は、沖縄からやってきたエイサーという演舞団です。道新やFMおたるでもとりあげられ、大盛況のうちに幕を閉じました。そんな彼らの北海道での日々をレポートしました。



4日のおさじに参拝、演舞の披露。



4日の日中は奥沢説教所で演舞。



5日の昼間は長橋のグループホームハーモニーを慰問、もちろん中身は人間です(笑)。



外では、盆踊りの提灯の準備中。台風接近が不安の中、ご苦労さまです。

例年通り、子ども盆踊り・大人盆踊りもありました。輪を作ってみんなで踊りました。



4日は悪天候のためホールでの盆踊り大会になりました。床に座って間近でエイサーを鑑賞しました。



5日は櫓を囲んでの演舞。噂が噂を呼び、とうとう観客は600名を超えました。最後はみんなで踊り、大盛況のうちに終わりました。



一日研修旅行の感想

私の家族たちとは、小樽別院の研しゅう旅行に行きました。さいしよに行つた

東林寺、別院とは少しがう話でした。私にとつてはわからない話かもしれないけれど、大人には、いい話なんじゃないのかと思いました。次に行つた、洞爺湖万世閣、建て物がきれいで、中も昼食もおいしくていい所でした。だけど、もう少し時間があつたら、ゆつくり温泉に入れたと思います。

その次は、京ごくのふきだし公園で休けいしました。思ったよりも、水がたくさんでいてびつくりしました。ここのお店の、あげたてのコロッケがとてもおいしかったです。せうは、さくらんぼ山に行きました。私は、さくらんぼがりを一番たのしみにしていたのに、さくらんぼが少なくて残ねんでした。けれども、いちごを食べれてよかったです。天気はあまりよくなかつたけれど、楽しい一日になりました。

6/24

倶知安
洞爺湖
京極
仁木

参加者

猪田知里（9歳）



ご門徒さん
を訪ねて

第二回

漫画・油彩画家 横山 文代さん

前回からご門徒さんの商店などを紹介しています。第二回目は漫画・油彩画家の横山文代さん。南小樽市場のマスケットキャラクター「みなみちゃん」のイラストを手がけている方です。お話を伺ってききました。



最近では道新の火曜日の夕刊に掲載されている「しりべし旅日記」というコーナーで取材に同行して挿絵を描く仕事もあるので、取材はするのにもされるのにも多いですし笑顔で迎えてくださいます。

7年ほど前に南小樽市場の前を通っていたときにふと、「赤ずきんを被った女



子がいたらかわいいなあ」と思ったのがマスケットのみなみちゃんを描くきっかけとなりました。以来、

毎月の南小樽市場の特売チラシにも新しいイラストを掲載している

そうです。「市場の良さを知ってもらいたい」理由はいたってシンプルでした。最近では、住吉神社の向かいのパン屋さんの壁に大きな桜の木を描かれたそうです。

そんな横山さんは、祖母の背中を見て育ち、お寺の大切さを知ったそうです。

「祖母は関東大震災と戦争の中を生き抜いてきた人、幼なじみやご近所さんが息をひきとるのを目の前で見たり、本当に困った状況の中



道新に連載中

で人の温かさも冷たさも感じてきたんです。

人は変わってしまいが仏様は変わらない。だからこ

そ仏壇が必要だったんです。立派なお仏壇は持って運べないので小さな仏壇を背負って焼け野原を歩いていきました。今、その仏壇に私も手を合わせ感謝しています。うちの仏壇は大きくないけど、ご先祖さまとの繋がりを感ずる大切なものですよ」と話して下さいました。（森）



お寺のイロハ〜写経は修行？〜

「浄土真宗では写経をしないんですか？」と聞かれることがありますが。写経は般若心経が一般的で、伝統的に浄土真宗で写経をするというのはあまり聞きません。その理由を歴史的な背景から考えてみました。

写経は2〜3世紀のインドにおいてすでに行われていたようですが、この時代には写経が修行の一つとして確立していたと考えられています。

また中国では、唐の時代に写経の専門家や写経事業運営の官僚制度も発達し、お寺や宮廷に納めるようになったそうです。

日本においても奈良時代（8世紀頃）になると、中国からの影響か国家的な事業として凶書寮という役所がおかれました。国家安泰や五穀豊穡を祈って有力寺院や凶書寮の写経司によって書き写されたようです。鎌倉時代（親鸞聖人

の時代）になると、一般庶民の間にも病氣平癒・先祖供養など、祈りや願いを目的に写経が行われるようになりました。

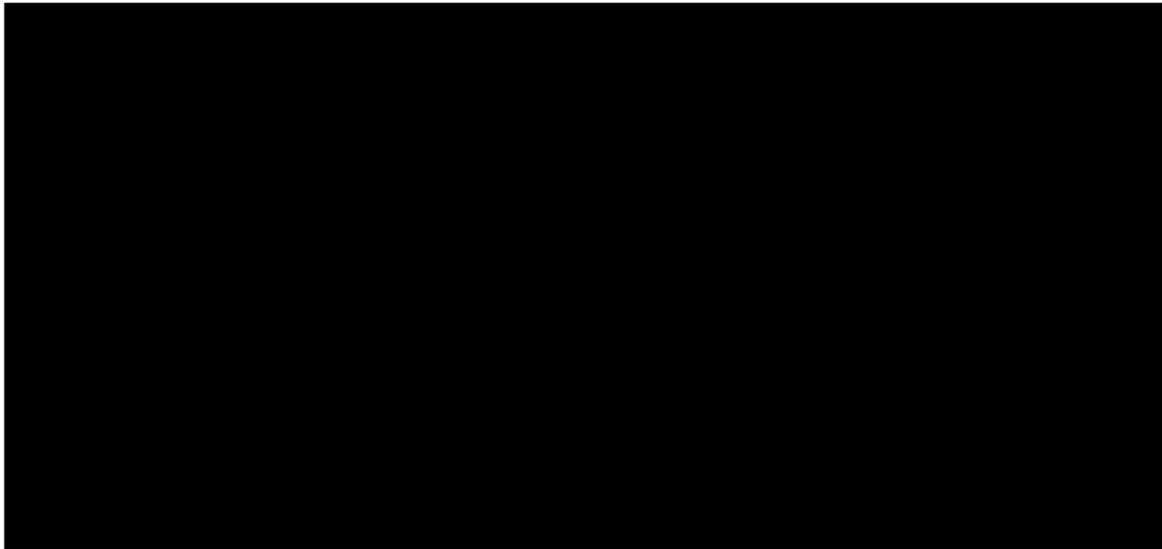
このような写経の歴史・意義を見ると、浄土真宗の「深く因果の道理をわきまえて、現世祈禱やまじないを行わず、占いなどの迷信にたよらない。」という宗風にはそぐわないのです。

しかし、修行や祈り・願いを目的としない写経であれば、浄土真宗で写経を否定する必要もないのです。法話を聞かせていただくのが浄土真宗の門徒としては一番大切なことなのですが、写経を通して心を落ち着かせたり、浄土真宗のお経を学び、阿弥陀さまの大慈大悲の心を聞かせていただくというのも良いと思います。

（注1）ものごとを誰かのせい、何かのせいにして自分で自身に問いかけて、受け止めていくということ。

別院門徒物故者

（平成十九年六月一日～七月三十一日現在）



本堂修復懇志新規進納者御芳名

（平成十九年七月三十一日まで）

金四拾萬円

●門徒懇志
金八拾萬円

佐野 昇

金六拾萬円

本庄 秀雄

金四拾六萬円

岡本 秀夫

金四拾三萬円

多賀 公一

広瀬美代子

永長 和代

畑 保則

村川 浩

横野 玲子

3分間の
心のともしび
小樽別院



テレホン法話
TEL 27-1616

24時間
いつでも
どうぞ

●テレホン法話担当表

10/ 1月～15日(月)	脇	11/ 1(木)～15日(木)	西川
10/16(火)～31日(水)	山邊	11/16(金)～30日(金)	武藤

編集後記

今年は暑い夏でした。盆踊りから盂蘭盆会法要までみなさんのご協力をいただきながら無事終えることができました。ありがとうございました。これからもみなさまに読んでいただけるよう頑張っていきますので、ご意見・ご感想お待ちしております。

編集委員

門徒委員

平田 晴己
竹澤 知恭
宮本 和枝
福川ヨシ子

別院担当者

西川 達恵
村田 法道
森 敬信

連絡先

本願寺小樽別院 小樽市若松1丁目4番17号
☎0134-22-0744 FAX 0134-29-4080

みんな

仲良し

小樽幼稚園



～まこと(いのち)の保育を行っています～



小樽幼稚園のお泊まり会

7/23に小樽幼稚園のお泊まり会がありました。昼からみんなで仁木にさくらんぼ狩りに出かけ、お寺で晩御飯を食べ、境内地で花火をして幼稚園で肝試しをして泊まって、翌朝お寺のおあさじにお参りました。夏休み前にステキな思い出できたかな？



園児募集

途中入園可能

- 募集園児 3歳児(H15.4.2～H16.4.1生まれ)
- 4歳児(H14.4.2～H15.4.1生まれ)
- 5歳児(H13.4.2～H14.4.1生まれ)

願書受付 新入園受付中です。

※事前に御連絡下さい。



学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

小樽幼稚園 TEL/FAX 0134-22-6536

寺院用荘厳仏具から家庭用仏壇仏具まで

創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具

京都本店
東築地店



若林

仙台店
近江草津店
福岡営業所

札幌店 札幌市中央区南19条西9丁目 0120-37-8585
〔日曜定休 9:00～17:30〕
<http://www.wakabayashi.co.jp/>

新畳・表替・裏返・畳工事

やっぱり畳が落ち着く
生き続ける伝統の技



木下豊店

小樽市山田町 8-6

☎・FAX 23-2245

広告募集

「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。
詳しくは 0134-22-0744 別院だより担当者：森までご連絡下さい。